

催した Wittgenstein Centre は、このほど中国・上海大学にアジア人口研究所を設立し、今後、東アジア地域における人口研究に注力していく方針であるという。東アジアの人口問題に関する世界の関心は、我々が思う以上に高く、今後は国際的な共同研究が益々進展していくものと思われる。

(福田節也 記)

東アジア・ASEAN 研究プロジェクト所内講演会

厚生労働科学研究費による研究事業「東アジア、ASEAN 諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究」では、2015年12月10日の午後2～5時に、一橋大学経済研究所の馬欣欣准教授を招いて所内講演会を行った。講演のタイトルは「高齢化社会の中国における公的医療保険制度の改革：制度的・実証的分析」で、急速な高齢化により制度整備が喫緊の課題になっている中国の医療保険制度の現状を概説し、個票データを用いて制度加入の効果に関する実証的分析を提示した。10人前後が参加し、活発な討論が行われた。

(鈴木 透 記)

日本人口学会2015年度第1回東日本地域部会

日本人口学会2015年度第1回東日本地域部会は2015年12月12日(土)に東北大学理学部・理学研究科にて開催された。報告タイトルと発表者は下記の通りである。

1. 佐々井 司(福井県立大学)：わが国を取り巻く国際人口移動と在留外国人の現状および今後の展望
2. 清水昌人*・中川雅貴・小池司朗(国立社会保障・人口問題研究所)：市区町村における日本人と外国人の転入超過
3. 丸山洋平(福井県立大学)：市区町村別将来人口推計における Child Woman Ratio の分母年齢設定の検討
4. 飯坂正弘(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)：手法と仮定の差異による人口推計結果の差異と、地方自治体人口の回復に向けて
5. 原 俊彦*(札幌市立大学)・吉村暢彦(北海道大学)：北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応—地域人口分析システムの構築【その1】：地域別将来推計人口とGIS(地理情報システム)のリンク
6. 山内昌和(国立社会保障・人口問題研究所)：東京大都市圏の低出生率に関する人口学的分析
7. 鎌田健司(国立社会保障・人口問題研究所)：地域別にみた出生力転換の拡散過程～空間計量経済モデルに基づく検証～
8. 鈴木 透(国立社会保障・人口問題研究所)：低出産・高齢化をめぐる東アジアの言説
9. 萩原 潤(宮城大学)：パプアニューギニア低地住民の世帯調査データのフォローアップとデータベース化

当日は20名もの参加者が集まり、地域における外国人の動向、地域別将来人口推計の精度・手法・GISを用いた課題解決、地域出生力についての分析など地方創生と関連した議論が多くなされた。活発な質疑応答が行われ、部会は盛況のうちに終了した。

(鎌田健司 記)